

事業計画書

| | |
|------|--|
| 事業名 | 佐久市および佐久地域の歴史・文化・伝統行事等の、ボランティアガイド事業 |
| 実施箇所 | <p>1、ガイドを行う範囲</p> <p>(1)宿場 小田井宿 岩村田宿 塩名田宿 八幡宿 望月宿 茂田井間の宿</p> <p>(2)街道 中山道 — 小田井 ⇄ 岩村田 ⇄ 塩名田 ⇄ 八幡 ⇄ 望月 ⇄ 茂田井 — (上記の範囲は、どこでも可)</p> <p>(3)史跡等 上記のほか、佐久市内を中心とした、城跡、神社・寺院、用水など</p> <p>2、歴史講座 佐久市の公民館等を会場に、佐久市内外から講師を依頼し開催する。</p> <p>3、部内活動 中込公民館を拠点に、ガイドに必要な学習を行うとともに、新たなガイドの養成講座を開催する。あわせて、マップ作りをすすめる。</p> |
| 実施期間 | 事業開始予定年月日 平成30年10月 1日 |
| | 事業終了予定年月日 平成31年 3月31日 |
| 事業概要 | <p><事業の目的及び達成目標></p> <p>中山道を中心とした宿場をはじめ、佐久市および佐久地域の史跡や文化財などのガイド活動を通じて、佐久市および佐久地域の観光をはじめ商業・農業などの産業の振興・発展に寄与する。</p> |
| | <p><事業の内容></p> <p>1、ガイド活動を通じて、中山道をはじめ佐久地域の歴史・文化・伝統行事などを、広く住民および地域外からの観光客等の来訪者に広める。</p> <p>2、市民への活動を認知浸透を図る事業として、広く地域によびかけて、会主催の宿場等のガイドツアーを実施する。</p> <p>3、中山道をはじめ歴史・文化・伝統行事などの学習活動を行い、会員の研鑽をはかるとともに、新たなガイドを養成をする。</p> <p>4、新たなガイドを養成するために、4回の養成講座を開催する。（内、2回は外部講師）</p> <p>5、各宿場のガイドマップを、順次作製する。今年度は、八幡宿の作成をすすめる。</p> <p>6、佐久地域を観光目的地としての来客人員を増加させるために文化施設、観光をはじめ商業・農業など関係する団体との連携により、相乗効果を図る。</p> |
| | <p><アピールポイント></p> <p>1、事業の実施について、チラシ（別紙）やホームページで広く広報し、市民および市外からの来訪者が、誰でも気軽に利用できる体制をとる。</p> <p>2、来客人員を増加させるために佐久市をはじめ隣接自治体の関係部署や、各観光協会、商工会議所・各商工会・各商店会等に協力することにより、相乗効果を図り事業の発展ができる。</p> <p>3、ガイドの際には、食事や宿、お土産などについて、特産品などの佐久地域独自の特徴をアピールすることができる。</p> |

| | | |
|------|--|--|
| 年間計画 | 4月 | |
| | 5月 | |
| | 6月 | |
| | 7月 | |
| | 8月 | |
| | 9月 | |
| | 10月 | 1、ガイド事業。2、定例会。3、八幡宿ガイドマップ作製 |
| | 11月 | 1、ガイド事業。2、茂田井間の宿ガイドツアー。3、定例会 |
| | 12月 | 1、ガイド事業。2、ガイド養成講座。3、定例会 |
| | 1月 | 1、ガイド事業。2、ガイド養成講座。3、定例会 |
| | 2月 | 1、ガイド事業。2、ガイド養成講座。3、定例会 |
| | 3月 | 1、ガイド事業。2、ガイド養成講座。3、定例会 |
| | 活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果（事業の対象者・参加予定人数も記載） | <p><「公益性」の視点></p> <p>1、地元、佐久を愛するガイドのメンバーが、中山道をはじめとする宿場を中心に、歴史史跡などを案内することにより、佐久の魅力広く市民および市外からの観光客などの来訪者に紹介、おもてなしをすることができる。</p> <p>2、佐久市の一般知識から、自然環境、隠れた名所・史跡、地元につながる逸話に加えて、地域の農産物、お酒や食材に関連する産業などの具体的な話により、佐久市の知名度アップに寄与する。</p> <p>3、文化施設や関係する団体との連携により、相乗効果を図り、佐久市への観光客などの来訪者の増加を図る。</p> <p>4、ガイド事業は、今年度200名を案内することを予定し、茂田井間の宿のガイドツアーは、30名の参加を予定している。また、ガイド養成講座では10名を育成したい。</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p> | <p><「自立性」の視点> 1、ガイド事業を行うための、ガイド小旗や幟旗、ガイド者のベスト、ハンズフリー拡声器、資料作成のプリンターについては、初期の投資でそろえる必要があり、これ以外は会員の会費とガイド依頼者からの実費負担で、会の運営は可能である。 2、初年度は、必要最小限のものとし、次年度以降は必要に応じ、追加導入を検討する。 3、案内人の会をアピールするため会の独自の事業として、次年度以降も、広く地域によびかけて、宿場等のガイドツアーを実施するとともに、あわせて歴史・文化・伝統行事などの講演会を開催する。 4、中山道をはじめ歴史・文化・伝統行事などの学習活動を行い、会員の研鑽をはかるとともに、新たなガイドを養成をする講座を開催するとともに、認定制度を確立する。</p> |
| <p>翌年度以降の活動内容概要</p> | <p>1、1年を通して、ガイド事業の実施 2、月1回、定例会の開催 3、年2回、ガイドツアーの実施 4、年1回、歴史等の講演会の開催 5、ガイド養成講座の開催</p> |
| <p>事業の最終目標</p> | <p>ガイド活動を通じて、佐久市の観光をはじめ商業・農業などの産業の振興・発展がはかれる。</p> |